

•• かめまの環境を地域と共にはぐくむ ••
「ecoの環」へのご意見、ご要望がありましたら、環境課総務係 ☎(64)3194までお寄せください。

ごみ焼却処理施設の改修 **その7**

ごみ焼却処理施設の改修工事完了!

清掃課施設係 ☎(64)3304

平成26年にスタートしたごみ焼却処理施設の改修。総工費約32億円の大型事業でしたが、今年の3月に無事完了し、環境に配慮した施設へと生まれ変わりました。

工事中の昨年9月・10月に行った「ごみ減量強化月間」では、皆様のご協力により大きな成果を上げることができました。工事は完了しましたが、ごみの量を減らすことは、施設の長寿命化や地球温暖化の抑制に効果があります。この施設を1日でも長く活用し、環境を大切にするためにも、今後もごみの減量へのご協力をお願いします。

改修のポイント

- ・施設で使用する電力の一部を賄う発電設備
- ・有害物質の排出をより抑える仕組み
- ・高効率機器の設置 など

→ 二酸化炭素の排出量を
従来の20%以上削減



◀ 工事完了後の見学会

「災害時における廃棄物等の処理に関する協定」を締結

清掃課事業係 ☎(64)3241

4月18日、市とサンエコサーマル(株)は、「災害時における廃棄物等の処理に関する協定」を締結しました。

災害時に迅速な対応をするためには、民間事業者と協力することも非常に重要です。この協定を結ぶことで、災害により環境クリーンセンターのごみ焼却施設の機能が損なわれたり、緊急に廃棄物等の処理が必要となった場合、サンエコサーマル(株)で廃棄物等の処理が可能になりました。



▲ 協定書への調印を終えた佐藤市長と本橋社長

環境活動者 紹介コーナー

市内で環境の保全や美化などに取り組む団体・企業などを、環境活動推進会議の編集員が取材しました。

【宇賀神・小島・富久田（敬称略）】

“もったいない”の意識を広め、マイバッグ推進運動を行う 「東部台地区マイバッグ推進委員会」

「東部台地区マイバッグ推進委員会」は、レジ袋の消費を抑えてごみを減らし、地球温暖化を防止するため、平成18年4月から活動を続けています。

これまでメンバーは、マイバッグキャンペーンをはじめ、市のエコライフフェアや消費生活展等に積極的に参加し、マイバッグの使用を広く呼び掛けてきました。そのかいもあり、意識調査を行った結果、発足当初は10人に1人程度だったマイバッグの所持率が、現在では2人に1人程度まで向上したことが分かりました。

会長の鈴木さんは、「市民のマイバッグに対する関心の高まりを感じています。今後は、きれいなまちづくり推進協議会と協力するなどして、市全体で一貫した推進体制を作り、“もったいない”の意識をさらに広めていきたいです。」と語ってくれました。



▲消費生活展でのPR活動

シリーズ エコライフのすすめ

環境課総務係 ☎(64)3194

10 エコショッピングのすすめ

ショッピングって楽しいですよ。日常のお買い物を一工夫して、エコなショッピングをしましょう。

■脱！マイカー移動

買い物にはついつい自動車が出掛けがちですが、自転車で行けばそれだけでかなりのエコになりますよ。ガソリンも減らないのでとっても経済的♪自転車で行くには少し遠いお店には、電車やバスなどの公共交通機関を使ってみましょう。



■買い方アレンジでごみは減る！

包装紙やパック容器など、買った後にごみになるものはたくさんあります。余計なごみを減らすために、買い方を工夫してみましょう！

①マイバックを活用する。

もはや定番のマイバッグ。折り畳めばコンパクトに持ち運べます。



②シャンプーや洗剤は詰め替え用を買う。

2回分詰め替え可能なものを買えば、お店に行く回数も少なくなります。



③量り売りを活用する。

必要なものを必要な分だけ買うことで、余分な包装を減らすことができます。

■その商品、本当に必要ですか？

お店に商品がずらりと並んでいて、つい衝動買いしちゃったこと、ありませんか？

買い物かごに入れる前に、本当に必要かどうか考えてみましょう。